

ジャポニズムを背景とした着物の欧米における影響についての研究
Research of the Influence of Kimono in Western Fashion in the Background of Japonism

深井 晃子^{*1+}, 長崎 巖^{*2+}, 稲賀 繁美^{*3+}, 周防 珠実^{*1+}, 石関 亮^{*1+}
Akiko Fukai^{*1+}, Iwao Nagasaki^{*2+}, Shigemi Inaga^{*3+}, Tamami Suoh^{*1+}, and Makoto Ishizeki^{*1+}

*1 公益財団法人京都服飾文化研究財団 京都市下京区七条御所ノ内南町 103

The Kyoto Costume Institute,

103, Shichi-jo Goshonouchi Minamimachi, Shimogyo-ku, Kyoto, 600-8864, JAPAN

*2 共立女子大学 家政学部

Faculty of Home Economics, Kyoritsu Women's University

*3 国際日本文化研究センター 研究部

Faculty of Research Department, International Research Center for Japanese Studies

+服飾文化共同研究拠点、文化ファッション研究機構、文化女子大学

Joint Research Center for Fashion and Clothing Culture

Bunka Fashion Research Institute, Bunka Women's University

Abstract : The objective of this research is to clarify the content of the provenance and the collectable about the kimono and Japanese textile collection of museums in Europe. In the year 2009, preliminary studies have carried out at the museums in Paris and London.

はじめに

「Kimono」という語の広範な流通が示すように、日本で生まれた着物は今や世界性を獲得している。それを推進した最も重要なベクトルはジャポニズムであり、ジャポニズムほど異文化交流の一例として興味深いテーマは他に類を見ないといえよう。既にジャポニズムについては多くの先行研究がありその影響範囲、多様性、メカニズムの解明など多くの成果が上がっている。ジャポニズムが広がりを見せた 19 世紀後半、西洋ファッションの発信地として機能していたパリを中心に、日本の着物が欧米諸国のファッションへ与えた影響を明らかにしたことは「モードのジャポニズム」展(京都服飾文化研究財団 京都:1994、東京:1996)、『ジャポニズム イン ファッション』(深井晃子著 1994)によって、パリ・モードと日本文化の関連性の概要を明らかにした。これを踏まえ、本研究は着物に焦点を絞り込んで、着物が欧米にもたらした影響関係の全貌を、より精度の高いレベルに置いて解明する。

方法

19世紀後半以降に形成され、現在でも存在する現地の日本染織コレクションについて来歴や収集品内容を調査することにより、物的側面からの根拠を与える。現在ではまとまりのあるコレクションのほとんどが美術館等の専門施設で保管・研究されていること、米国の美術館における調査は長崎巖により既に行

*1) fukai@kci.or.jp

われ、『在外日本染織集成』(1995)として集大成されていることから、本研究ではヨーロッパ主要国の美術館等を対象とする。

結果

平成 21 年度は、研究計画を実施するための下記の予備調査を実施した。

- ① フランス、イギリスを中心とした美術館・博物館等における着物コレクションの有無を確認。
- ② フランスでは、パリ衣装テキスタイル美術館、ギメ東洋美術館において、各館が所蔵する着物コレクションの現物調査。
- ③ イギリスでは、ヴィクトリア&アルバート美術館において、所蔵する着物コレクションの現物調査。
- ④ オランダでは、オランダ染織研究会主催の Kimono シンポジウム(2009年11月26日、ワールド・ミュージアム、ロッテルダム)において、深井晃子が「'Japonisme in Fashion' or Kimono Influence on Fashion」の講演を実施。



また、参加者であるオランダ各美術館等における着物コレクションの情報を収集し、さらなる情報を要請。

- ⑤ フランスのパリ装飾美術館図書館において、着物及び日本染織品にかかわる文献資料を調査。
- ⑥ 国立国会図書館において、明治期に輸出された着物及び日本染織品にかかわる文献資料を調査